

3－2 診療技術部

薬剤科

令和6年度は、新人薬剤師2名会計年度職員1名の3名の増員があり、常勤の薬剤師6名、事務員4名で昨年度から減員体制で縮小していた業務を少しずつ戻しつつ業務を見直して効率よく遂行できるように試行錯誤を行った。6月に聖隷浜松病院から派遣薬剤師の計画があり、双方の話し合いの末、9月より派遣薬剤師1名が3か月毎に交代で勤務していただけることとなり、調剤室担当する薬剤師の増員により病棟担当薬剤師の病棟に常駐する時間が増加し、病棟服薬指導件数が予想より多く伸びた。しかし、薬剤師の人員は現在も不足状態のため、募集に力をいれるもなかなか応募がなく、県全体で薬剤師不足が進行してきていることもあるため、昨年度と同様に県外の大学での就職ガイダンスやWEBによる就職説明会なども参加し人員の増加にも努めたが採用につなげることができなかった。近年、製薬会社（特に後発品）の製造中止や遅延が相次ぎおこり、その他の製薬会社に需要が偏り供給不足で出荷量が制限され、発注しても薬が入庫しないことがあり院内のみならず院外処方において多大な影響があり問題となっているが今年度は特に顕著となり、代替薬の変更または中止を余儀なくされ対応に追われ、他社製薬会社や各卸業者との連絡を密にとり治療に後れを取らせないように努めた。まだまだ供給が不安定な状況が続いているためこれからも製薬会社、卸業者と連携をとって対応していきたい。

【購入機器】注射処方箋発行用プリンター2台

【薬剤科業務量推移】

【処方箋枚数】（単位：件）	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外来処方箋（院外）	33,073	34,228	35,688	35,836	35,347	35,523
外来処方箋（院内）	3,203	2,606	3,251	4,057	1,866	1,669
入院処方箋	15,117	15,929	16,560	15,521	15,270	15,152
入院注射箋	59,725	58,898	65,134	62,527	54,527	54,732
【注射薬調整】（単位：件）	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高カロリー輸液	855	1,351	1,242	1,730	727	140
化学療法薬剤（外来）	1,008	1,006	1,141	994	901	867
化学療法薬剤（入院）	60	100	80	48	10	43
【指導件数】（単位：件）	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
薬剤管理指導料1	459	1,818	2,182	2,278	1,807	922
薬剤管理指導料2	2,128	3,525	3,051	2,753	2,553	2,713
退院時薬剤情報管理指導料	804	895	885	813	819	1,004
退院時薬剤情報連携加算	—	305	332	353	129	14
薬剤情報提供料	1,958	1,682	2,149	2,944	1,143	1,104
特定薬剤治療管理	25	33	17	17	10	11
麻薬管理指導加算	150	217	196	217	264	110

臨床検査科

令和 6（2024）年度は新人職員 1 人を迎え 13 人でのスタートとなった。検査技師は 1 階採血室、生理検査室、耳鼻科での聴力検査、2 階検査室、5 階健診センターへと時間ごとで業務を行っている。また家庭医療センターしろわクリニックでも 1 名の検査技師が業務を行っている。今年度も新型コロナウイルスは昨年度よりは落ち着いたものの 8 月、11 月には病棟でのクラスター発生での対応に追われた。それでも検査技師による鼻咽頭検体採取件数は 1,343 件から 821 件に減少し院内にて行われた PCR 検査も 2,579 件から 1,503 件に減少した。秋にはマイコプラズマ肺炎が流行したため PCR 検査も行えるようにした。

今年度は、全自動便中ヒトヘモグロビン測定装置（便潜血）、血液ガス測定装置、筋電図・誘発電位検査装置、脳波検査装置を更新させていただいた。当初予定更新機器より増えたがこれは長年、使用してきた機器が突然壊れ臨時での購入となったものもあった。更新機器は当院に見合った機器、採算が取れると予測できる機器を選定した。

検査科では現在厚生労働大臣指定のタスクフォース/シェアに関する講習会を順次受講し今後少しでも幅広く活躍できるよう準備しているところである。

【精度管理】

日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査

静岡県臨床検査技師会精度管理調査

血液ガス分析装置精度管理

各試薬メーカーにて行われる精度管理

【保持資格】 令和 6 年 4 月現在

超音波検査士（日本超音波医学会）	2 名	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者	2 名
緊急検査士	1 名	有機溶剤作業主任者	1 名
細胞検査士（日本臨床細胞学会）	2 名	OMA（眼科）	2 名
細胞検査士（国際細胞学会）	2 名		

【検査実績】

（単位：件）

検体検査種類	累 計	生体検査種類	累 計
生化学検査	458,556	超音波検査（外来・病棟）	2,870
血液検査	61,355	超音波検査（健診）	1,558
免疫検査	32,836	心電図検査（外来・病棟）	2,640
尿一般検査	27,028	心電図検査（休日・時間外）	593
特殊検査（外注）	11,671	聴力検査（生理分）	316
院内 PCR 検査	1,503	肺機能検査（生理分）	289
細菌検査	2,198	脳波検査	21
病理・細胞診検査	1,222	血圧脈波	108
市民 子宮がん検診	509	血圧脈波（健診）	31
浜医・外注	38	空気容積脈波	0
前月追加分 浜医・外注	45	筋電誘発電位	89
血液ガス検査	488	ホルター血糖	10
その他検査	32	ホルター心電図	49
検体採取（鼻咽頭）	821	その他検査	0
合 計	598,302	合 計	8,582

・採血人数：外来	11,743 人	・検査説明患者数	96 人
・採血人数：健診	4,959 人	・医師実施 超音波検査数	319 件

画像診断科

令和6年度は、昨年同様技師7名で放射線撮影業務を行った。
今年度の全検査件数については、昨年度と比べ500件程の減となった。一般撮影が900件程度減となり、CT・骨塩定量検査が増加したものの全検査数は減少となってしまった。
今年度は、部門システムのRISとマンモ装置の更新がされた。RISは多少の初期不良などが見受けられるが安定稼働しており担当SEとも連絡を取り合いより良いものに仕上げているところである。マンモグラフィ装置については年度末での更新ということもあり、まだ検査件数は少ないが前機種に比べ圧迫時の痛みの軽減機能が備わっているなど患者様に優しい装置となった。
その他、健診聴力検査や健診の結果入力なども行ってきたことや、他部署協同の一環としてPM検査（一般撮影）予定の病棟患者様の送り迎えや休日お昼の病棟患者様の食事見守りなどもおこなってきた。

画像撮影件数推移

(単位：件)

	一般撮影	一般造影	CT	MRI	血管撮影	骨塩定量	合計
平成25年度	17,034	1,942	4,246	2,138	22	499	25,881
平成26年度	15,364	1,765	3,929	1,960	5	370	23,393
平成27年度	16,309	1,778	3,498	1,615	8	374	23,582
平成28年度	17,084	1,701	3,448	1,961	11	395	24,600
平成29年度	16,992	1,512	3,508	1,801	10	479	24,302
平成30年度	18,180	1,675	3,693	1,766	17	589	25,920
平成31年度 令和元年度	18,368	1,737	4,034	1,843	30	704	26,716
令和2年度	21,795	1,872	4,746	1,871	23	621	30,928
令和3年度	20,806	1,746	4,383	1,843	17	637	29,432
令和4年度	19,998	1,794	4,551	1,580	17	603	28,543
令和5年度	20,733	1,565	4,280	1,540	0	634	28,752
令和6年度	19,890	1,540	4,662	1,410	0	766	28,268

紹介データ作成・他院データ読み込み件数

(単位：件)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1,312	2,093	2,889	1,332	1,581	1,581	1,624	1,441
平成29年度	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,482	1,710	1,692	1,708	1,658	1,686	2,011	4,720

【保持認定資格】 3月現在

マンモグラフィ撮影技術認定 : 2名
胃がん検診専門技師認定 : 3名
X線CT撮影技術認定 : 2名
救急撮影技術認定 : 1名
肺がんCT検診技術認定 : 1名

放射線管理士認定 : 1名
放射線機器管理士認定 : 1名
医用画像管理士認定 : 1名
磁気共鳴専門技術者認定 : 1名
Ai認定診療放射線技師 : 1名

【更新機器】 ・RIS更新

F-RIS (富士フイルムメディカル株式会社製)

・マンモグラフィ装置更新

MAMMOMAT B.brilliant (SIEMENS社製)

栄 養 科

チーム医療に関する業務を中心に、管理栄養士は従来どおり病棟担当制とし活動している。病院の給食数、栄養指導件数はともに昨年より増加している。令和6年6月より1名育休から復帰し、4人体制となっている。

【スタッフ】令和7年3月末現在

(単位：人)

病 院 業 務	委 託 業 務	
	令和5年度	令和6年度
管理栄養士	3	4
合 計	3	4

委 託 業 務	令和5年度	
	令和5年度	令和6年度
管理栄養士・栄養士	3	3
調理師	8	7
調理補助	1(派遣)	0
調理補助パート	11	12
調理補助アルバイト	1	1
洗浄パート	3	3
洗浄アルバイト	1	1
合 計	28	27

<保持資格>NST 専門療法士： 3名、人間ドック健診情報管理指導士： 1名

【給食数（延食数）】

(単位：食)

内 訳	病院 (療養病棟含む)	一般食 治療食	令和5年度	令和6年度
			令和5年度	令和6年度
			115,071	124,199
			29,632	29,885
	老人保健施設		50,495	50,408
	外来特別食		0	0
	院内保育園		512	352
	合 計		195,710	204,844

【栄養指導件数】

(単位：件)

個別指導	症病名(食事名)	令和5年度	令和6年度	個別指導	症病名(食事名)	令和5年度	令和6年度
	糖尿病	318	407		肥満症	12	44
	腎臓病	15	8		膵・胆嚢炎	45	45
	糖尿腎症	0	1		貧血症	1	1
	心・高血圧症	39	70		嚥下・摂食障害	46	30
	透析食	35	18		ミネラル制限	2	2
	脂質異常症	25	22		経管栄養	0	0
	高尿酸血症	0	5		便秘症	0	2
	消化器術後食	6	7		低栄養	9	17
	低残渣食	3	0		COPD	1	0
	胃腸病	52	32		その他	22	24
	肝臓病	3	12				
	がん	37	33		合 計	671	780
集団指導	糖尿病教室	4	0				

経口移行・維持訓練加算点数（老人保健施設）

	令和5年度	令和6年度
経口移行加算	0件	139件
経口維持加算Ⅰ＋Ⅱ	0点	69,500点

臨床工学科

令和6年度は9名体制で開始。血液透析部門4名、内視鏡部門1名、手術室部門2名、中央材料室部門・ME機器管理部門兼務で1名を配置し業務にあたることとした。残り1名をローテーションで部門に配置し業務ラダーに従い育成を進めている。

血液透析業務は昨年度から非常勤医師による診療となっている。外来診察も行われていないこと、新規透析導入が出来ないこともあり患者数は減少している。ほとんどの患者が透析安定期であることから全員オンラインHDF治療としている。今年度も新型コロナウイルスやインフルエンザ感染に悩まされ当院の内科医師にも協力して頂き火木土へ透析を変更して対応した。

手術室業務では2名体制で介助数増加、スコピスト数増加を達成することが出来た。介助は全手術数の70%以上を達成している。1月より4名目の育成を開始している。

内視鏡業務では5名目の育成が年度内に終了し、2名を隔週でのローテーションで業務にあたることとした。月1度の内視鏡カンファレンスを開催し医師看護師等を交えて学習会や情報共有の場として活用している。

中央材料室業務では外部委託から当科で対応出来るよう準備をすすめ今年度から業務移管した。洗浄器・滅菌機の保守管理、機材の管理や衛生材料の管理、トレーサビリティ管理まで行える体制を構築、透析業務の無い火木曜日中心の業務に変更し定着することが出来た。

令和3年7月9日付 医政発 0709 第7号厚生労働省医政局長通知の告示研修に全員が参加し今後も更に院内でタスクシェア／シフトを推進し、業務拡大する体制を整えていく次第である。

ME機器保守点検件数（年次推移）

（単位：件）

	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人工呼吸器	91	64	87	99	143	86
輸液ポンプ	608	702	699	497	448	357
シリンジポンプ	169	182	154	110	158	141
除細動器	23	18	26	16	149	57
ベッドサイドモニタ	401	613	698	682	903	660
セントラルモニタ	0	11	3	3	2	6
持続低圧吸引器	36	26	32	15	8	15
ネブライザ	217	111	188	97	128	132
パルスオキシメータ	7	48	31	11	77	16
その他ME機器	292	460	1139	245	856	1036
透析機器類	500	607	819	737	1091	553
手術室内機器類	169	47	71	62	150	103

※2017年10月より人工呼吸器と除細動器は毎日点検を実施。2019年11月より手術室内機器始業点検実施。

ME機器保守点検詳細（透析装置類除く）

（単位：件）

	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
始業点検	1578	1914	2625	2147	2590	2135
定期点検	201	277	385	284	379	337
オーバーホール	0	0	0	0	0	0
洗浄・清掃	1	0	0	0	0	0
調整	0	0	0	2	5	1
修理依頼	72	88	127	97	117	122
その他	15	23	31	32	83	81

人工呼吸業務

（単位：人）

	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
患者数	70	53	66	41	20	21
患者数（ME係りあり）	43	37	45	23	11	16

内視鏡業務

(単位：件)

	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介助件数	1735	1932	2127	2111	1891	2084
スコープ等機器管理件数				30	77	29

手術室業務

(単位：件)

	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介助件数		363	352	293	442	386
スコピスト件数			28	54	70	74

院内機器安全使用勉強会・安全情報配信

(単位：回)

	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
院内機器安全使用勉強会	20	38	39	36	36	31
安全情報配信数	5	4	6	1	4	1

リハビリセンター科

令和6年度のリハビリセンター科(療養型を含む)の実績を下にまとめた。今後も早期介入・早期離床を目指し廃用症候群の予防に努め、日常生活機能の向上及び在宅復帰率の向上に努めたい。

1) 疾患別リハビリテーション

			脳血管 I				廃用 I						運動器 I						呼吸器 I	
			・ 脳血管 I (245) ・ 脳血管 I 上限越 (245) ・ 脳血管 I 13単位越 (245)		・ 脳血管 上限越併用 (147) ・ 脳血管 上限越併用超 (147)		・ 廃用 I (180) ・ 廃用上限越 (180) ・ 廃用13単位越 (180)		・ 廃用上限越併 用 (108) ・ 廃用上限越 併用超 (108)		・ 廃用 管理料 未算定 (162)		・ 運動器 I (185) ・ 運動器上限越 (185)		・ 運動器 上限越併用 (111) ・ 運動器 上限越併用超 (111)		・ 運動器労災 (190)		・ 呼吸器 I (175) ・ 呼吸器上限越 (175) ・ 呼吸器13単位超 (175)	
			件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位
理 学 療 法	外来	件数	407	929	0	0	37	83	0	0	0	0	2,825	4,622	0	0	29	74	67	159
		点数	227,605		0		14,940		0		0		855,070		0		14,060		27,825	
	入院	件数	2,481	2,932	1,134	1,224	6,657	11,172	496	540	1	2	5,348	9,446	117	139	0	0	2,480	4,382
		点数	718,340		179,928		2,010,960		58,320		324		1,747,510		15,429		0		766,850	
	小計	件数	2,888	3,861	1,134	1,224	6,694	11,255	496	540	1	2	8,173	14,068	117	139	29	74	2,547	4,541
		点数	945,945		179,928		2,025,900		58,320		324		2,602,580		15,429		14,060		794,675	
作 業 療 法	外来	件数	317	1,090	0	0	0	0	0	0	0	0	439	662	0	0	0	0	0	0
		点数	267,050		0		0		0		0		122,470		0		0		0	
	入院	件数	206	351	0	0	2,414	3,680	0	0	0	0	1,596	2,528	0	0	0	0	1,317	2,131
		点数	85,995		0		662,400		0		0		467,680		0		0		372,925	
	小計	件数	523	1,441	0	0	2,414	3,680	0	0	0	0	2,035	3,190	0	0	0	0	1,317	2,131
		点数	353,045		0		662,400		0		0		590,150		0		0		372,925	
言 語 聴 覚 療 法	外来	件数	75	219	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0
		点数	53,655		0		0		0		0								0	
	入院	件数	74	117	0	0	610	966	95	106	8	8							709	1,156
		点数	28,665		0		173,880		11,448		1,296								202,300	
	小計	件数	149	336	0	0	610	966	95	106	8	8							709	1,156
		点数	82,320		0		173,880		11,448		1,296								202,300	

2) 検査その他加算

	点数	件数	合計
摂食機能療法	185	148	27,380
摂食(30分未満)	130	0	0
早期初期加算	45	21,495	967,275
早期加算15~30分	25	8,942	223,550
急性期リハ加算	50	4,608	230,400
早期初期加算(労災)	45	0	0
早期(労災)	25	0	0
急性期リハ加算(労災)	50	0	0
退院時リハ指導	300	536	160,800
総合評価料 1	300	2,758	827,400
総合評価料 2	240	315	75,600
運動量増加機器加算	150	0	0
介護支援連携指導料	400	0	0
入院時訪問指導加算	150	0	0
退院前訪問指導料	580	13	7,540
介護支援連携指導料	400	0	0
訪問リハ(問診書以外)	300	84	25,200
訪問リハ(問診書)	255	0	0
消炎(器具)	35	0	0
介護車引	35	0	0
心理検査(極めて複雑)	450	0	0

	点数	件数	合計
心理検査(複雑)	280	1	280
心理検査(容易・他)	80	25	2,000
心理検査(容易)	80	4	320
発達知能検査(極めて複雑)	450	1	450
発達知能検査(複雑)	280	0	0
発達知能検査(容易)	80	0	0
リンパ浮腫	100	0	0
リンパ浮腫(退院後)	100	0	0
ADL加算	30	0	0
義肢器具採寸法	200	4	800
治療器具採寸法	700	1	700
四肢切断義肢器具採寸法	700	0	0
股関節断義肢器具採寸法	1,050	0	0
摂食機能検査	0	2	0
情報提供加算	200	0	0
介護リハ移行支援	500	0	0
目標設定管理 初回	250	82	20,500
目標設定管理 2回以降	100	84	8,400
歩行内歩行試験	100	0	0
合計		39,103	2,578,995

3) 療法別実績

		件数	単位数	点数	脳血管	廃用	運動器	呼吸器
理学療法	外来	3,365	5,867	1,139,500	227,605	14,940	869,130	27,825
	入院	18,714	29,837	5,497,661	898,268	2,069,604	1,762,939	766,850
作業療法	外来	756	1,752	389,520	267,050	0	122,470	0
	入院	5,533	8,690	1,589,000	85,995	662,400	467,680	372,925
言語聴覚療法	外来	75	219	53,655	53,655	0		0
	入院	1,571	2,353	417,589	28,665	186,624		202,300

4) 疾患別リハ割合



回復期リハビリ科

療法別算定単位数前年比は、理学療法部門106.8%、作業療法部門122.8%、言語聴覚療法部門103.5%、全体で116.5%であった。令和6年度はSTスタッフの増員やOTの土曜日出勤開始など勤務状況変更の工夫により取得単位数を増加させることができた。また、クラスター対応も早期からのベッドサイドリハの再開により提供単位数の低下も最小限にとどめることができた。引き続き各療法士間、多職種間での協業を行い、経営的な視点を持ち患者さまの機能回復や日常生活動作の改善に努めていきたい。

1. 療法別算定件数・点数

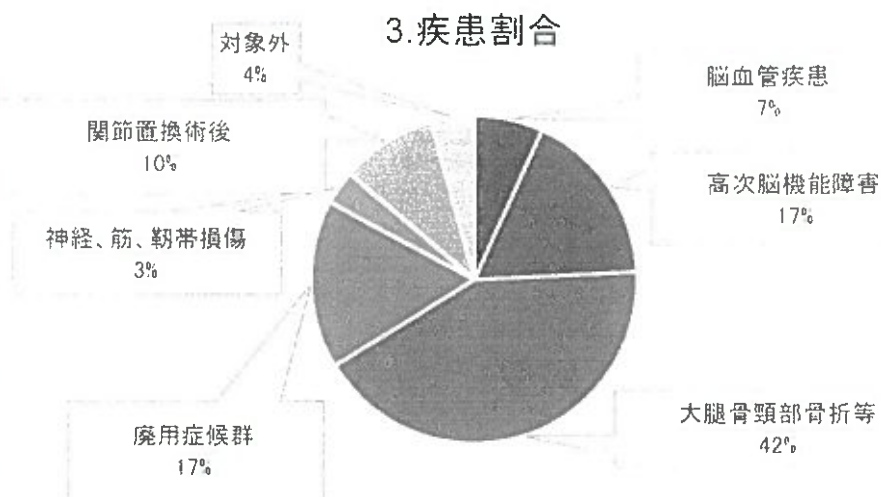
1. 療法別算定件数・点数							脳血管 I		廃用 I		運動器 I	
							件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
		実施 患者数	患者数 計	新患者	再診数	総単位 数	245		180		185	
理学	件数	359	18,206	110	18,096	58,816	7,012	20,800	3,186	9,085	9,999	28,928
	点数							5,096,000		1,635,300		5,351,680
作業	件数	359	11,896	63	11,833	34,263	5,277	15,232	2,017	5,628	4,939	13,390
	点数							3,731,840		1,013,040		2,477,150
言語	件数	117	4,943	68	4,875	9,485	2,995	8,270	481	1,213		
	点数							2,026,150		218,340		
小計	件数	835	35,045	241	34,804	102,564	15,284	44,302	5,684	15,926	14,938	42,318
	点数							10,853,990		2,866,680		7,828,830

2. 検査その他加算

項目	点数	件数	合計点数	項目	点数	件数	合計点数
摂食機能療法	185	1,316	243,460	発達知能検査(極複雑)	450	0	0
摂食(30分未満)	130	0	0	発達・知能検査(複雑)	280	0	0
早期初期加算	45	2,267	102,015	発達・知能検査(容易)	80	0	0
早期加算15～30日	25	5,165	129,125	リンパ浮腫	100	0	0
急性期リハ加算	50	0	0	リンパ浮腫(退院後)	100	0	0
退院時リハ指導	300	0	0	A D L加算	30	0	0
総合評価料 1	300	367	110,100	算定なし(加算有効)	0	1,292	0
総合評価料 2	240	412	98,880	義肢装具採寸法	200	0	0
運動量増加機器加算	150	0	0	治療装具採寸法	700	0	0
入院時訪問指導加算	150	0	0	四肢切断義肢装具採型	700	0	0
退院前訪問指導料	580	0	0	股肩離断義肢装具採型	1,050	0	0
介護支援連携指導料	400	0	0	嚥下機能検査	0	16	0
訪問リハ(同建物以外)	300	0	0	情報提供加算(労災)	200	0	0
訪問リハ(同建物)	255	0	0	介護リハ移行支援	500	0	0
消炎(器具)	35	0	0	目標設定管理 初回	250	191	47,750
介達牽引	35	0	0	目標設定管理 2回以降	100	42	4,200
心理検査(極めて複雑)	450	0	0	時間内歩行試験	200	0	0
心理検査(複雑)	280	0	0				
心理検査(容易・他)	80	0	0				
				合 計		11,068	735,530

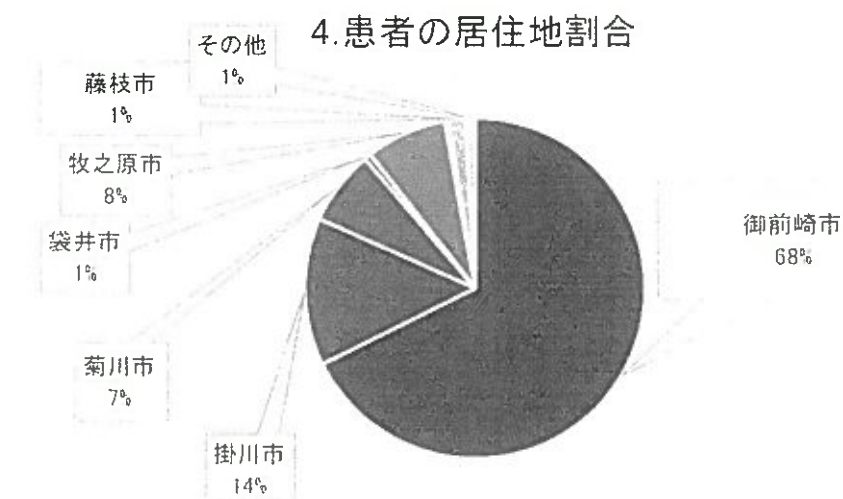
3. 疾患割合

疾患名	人数
①脳血管疾患	22
②高次脳機能障害	57
③大腿骨頸部骨折等	137
④廃用症候群	54
⑤神経、筋、靱帯損傷	11
⑥関節置換術後	31
⑦対象外	14
合 計	326



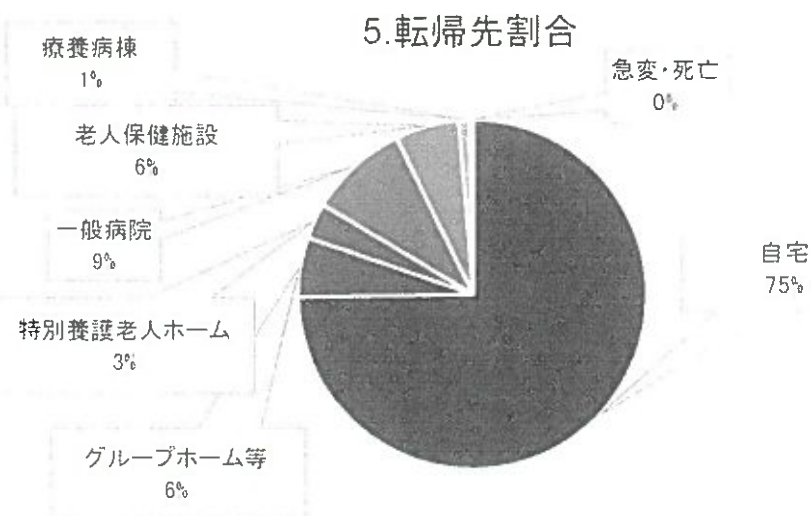
4. 入院患者の居住地

入院患者の居住地	人数
①御前崎市	211
②掛川市	44
③菊川市	22
④袋井市 磐田市	2
⑤牧之原市	24
⑥焼津市	1
⑦島田市	0
⑧藤枝市	5
⑨その他	3
合 計	312



5. 転帰別割合

転 帰 先	人数
①自宅	228
②グループホーム等	17
③特別養護老人ホーム	10
④一般病院	28
⑤老人保健施設	18
⑥療養病棟	3
⑦急変・死亡	1
合 計	305

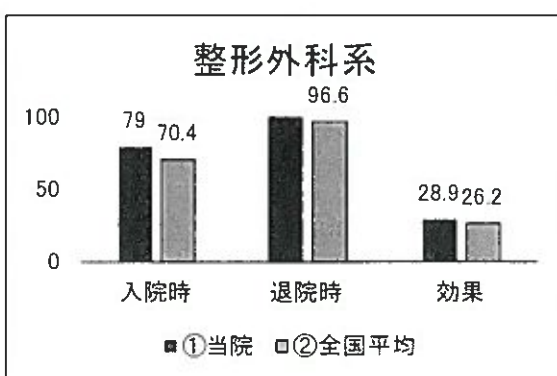
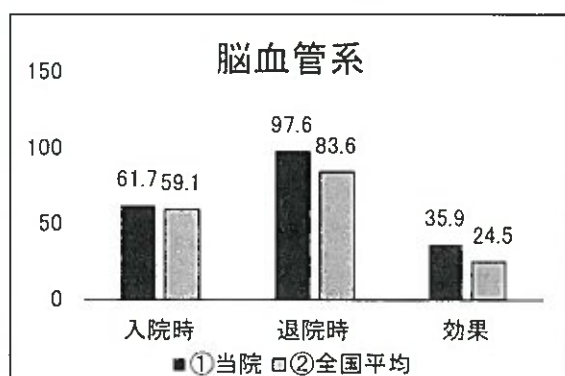
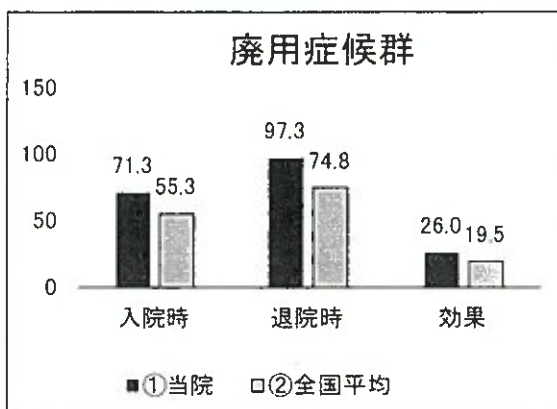


在宅復帰率 83.9%

6. 疾患別日常生活動作機能的自立度（FIM）の変化

（単位：点）

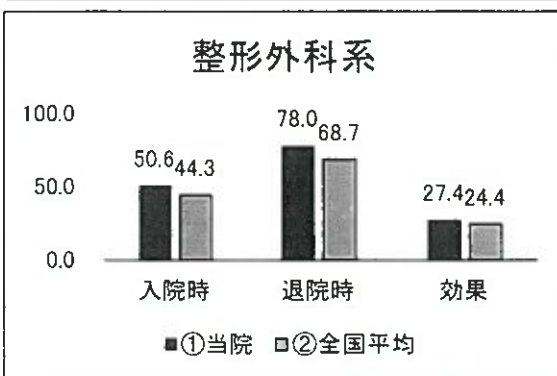
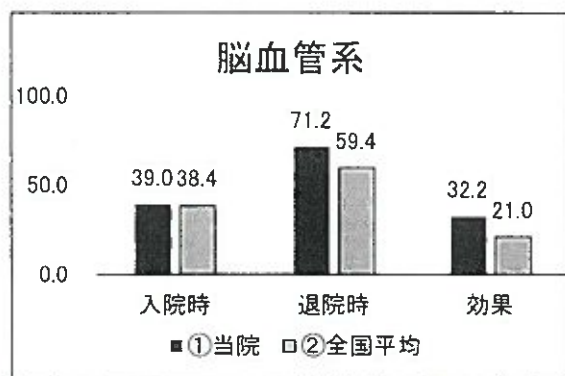
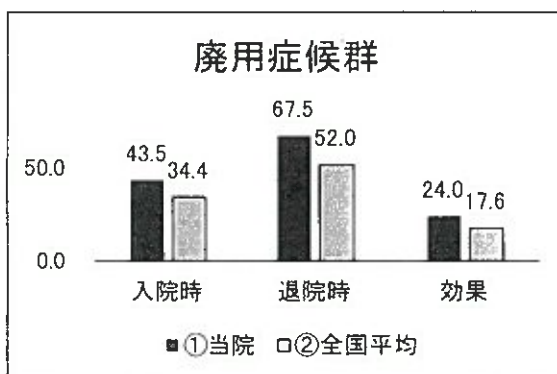
		FIM全体		
		入院時	退院時	効果
脳血管系	①当院	61.7	97.6	35.9
	②全国平均	59.1	83.6	24.5
整形外科系	①当院	79	107.9	28.9
	②全国平均	70.4	96.6	26.2
廃用症候群	①当院	71.3	97.3	26.0
	②全国平均	55.3	74.8	19.5
全体	①当院	73.1	103.3	30.2
	②全国平均	64.6	89.4	24.8



7. 疾患別日常生活動作機能的自立度（FIM運動項目）の変化

（単位：点）

		FIM運動項目		
		入院時	退院時	効果
脳血管系	①当院	39.0	71.2	32.2
	②全国平均	38.4	59.4	21.0
整形外科系	①当院	50.6	78.0	27.4
	②全国平均	44.3	68.7	24.4
廃用症候群	①当院	43.5	67.5	24.0
	②全国平均	34.4	52.0	17.6
全体	①当院	46.3	74.4	28.1
	②全国平均	41.1	63.4	22.3



8. 在院日数

（単位：日）

平均在院日数	脳血管	整形外科系	廃用
当院	89.6	49.2	62.4
全国平均	83	54.4	53.5

視能訓練科

令和6年度も浜松医科大学（毎週水曜日午前2～3回、月1回木曜日午前）、静岡赤十字病院（毎週月曜日午前7月～12月・毎週火曜日午後4月～6月、1月～）、浜松医療センター（毎週金曜日午前）からの応援医師により外来診療を行った。

視能訓練科は、視能訓練士、検査員2名で外来日に眼科一般検査を行い、検査数は、外来日が月（2・3）日削減した状況で、ある程度維持できた。

また、外来日以外は眼科検査を予約で行ったり、健診業務に従事した。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	健診・検査	健診・検査	外来(2.4.5)	外来(1)	外来業務
午後	健診・検査	外来業務	健診・検査	健診・検査	健診・検査

業務統計

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
白内障術前検査	0件	1件	0件	0件	0件	0件
静的量的視野検査	358件	391件	513件	578件	601件	516件
動的量的視野検査	47件	43件	60件	89件	94件	103件
精密視野検査					11件	27件
蛍光眼底造影	4件	3件	1件	4件	2件	1件
眼鏡処方	45件	47件	75件	64件	66件	81件
両眼視機能検査	20件	50件	65件	81件	110件	84件
眼筋機能精密検査	16件	25件	41件	34件	35件	25件
立体視					39件	51件
視能矯正訓練	1件	1件	3件	19件	20件	12件
矯正視力検査	1,516件	1,938件	2,195件	2,654件	2,847件	2,825件
屈折検査	491件	535件	585件	674件	620件	655件
角膜曲率半径計測	472件	567件	642件	613件	624件	665件
精密眼圧測定検査	1,108件	1,489件	1,960件	2,276件	2,482件	2,398件
角膜内皮細胞検査	3件	22件	22件	33件	36件	12件
色覚検査	55件	42件	50件	53件	44件	49件
中心フリッカー検査	13件	15件	22件	13件	7件	11件
小児矯正視力加算				69件	62件	55件
調節検査				136件	167件	196件
涙液検査						33件
眼底3次元画像解析	290件	351件	508件	655件	866件	798件

<保有資格等>

認定視能訓練士 1名

視能訓練士実習施設指導者等講習会修了